



2026年7月31日

各 位

会社名 株式会社Q P S ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 CEO 大西 俊輔
(コード：464A、東証グロース市場)
問い合わせ先 取締役 CFO 三輪 洋之介
(E-mail：ir@qpshd.com)

新規打上げ契約締結に関するお知らせ

当社子会社であるQ P S 研究所は米国Rocket Lab社と小型S A R衛星「QPS-SAR」3機分の打上げに関し、新たに契約を締結したことをお知らせいたします。

今回新たに契約した3機の打上げと既存の契約と合わせて、今後、合計11機のQPS-SARをRocket Lab社のエレクトロンで打ち上げることになります。

今回の打上げ契約をはじめ、当社グループは現在、世界中での打上げ機会の確保を強力に推進しております。準リアルタイム観測サービスを世界的なインフラへと進化させるべく、今後も果敢に自社グループ事業への投資・開発を加速させ、36機超のコンステレーション早期構築に向けて邁進してまいります。

(ご参考)

＜Rocket Lab社について＞

2006年に設立されたRocket Lab社は、カリフォルニア州ロングビーチに本社を置くロケット開発会社です。2018年1月の最初の打上げから、Electronは米国で年間2番目に打上げ回数が多いロケットとなり、これまでに民間及び公的機関の200機以上の衛星を軌道投入しています。現在はニュージーランドに2つ、バージニア州に2つの合計4つの発射台を所持しています。

以上

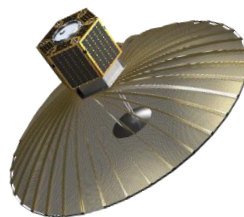
機数増加のイメージ

OBSERVE THE EARTH
-Anytime, Anywhere

中期経営計画最終年度の2031年5月期末時点では先行投資の状態
増産および次世代機開発による増収・増益効果は2032年5月期以降に本格化

衛星機数

- Original Plan
- Boost Plan
- Profit



Boost Plan

- ・2028年より開始
- ・ニーズに合わせた柔軟な軌道、打上げ方法を選択

Original Plan

- ・2030年に36機体制構築
- ・傾斜軌道を中心に投入し、観測頻度を向上

2027年5月

2031年5月

© QPS Holdings Inc. ※上記の図表は、2026年7月14日に公表済みの「中期経営計画」における量産計画を可視化したものです。本件に伴う新たな計画の追加や変更等はありません。
表中の衛星機数および営業利益はイメージであり、実態と異なる場合がございます。